

ESネット工法

ESネット工法は、斜面の不安定土塊に対して、ロックボルトとワイヤーケーブルの組み合わせにより安定させる工法です。ワイヤーケーブルを緊張することで地山の緩みを抑えることが可能で、小規模な表層崩壊を防ぐことができます。

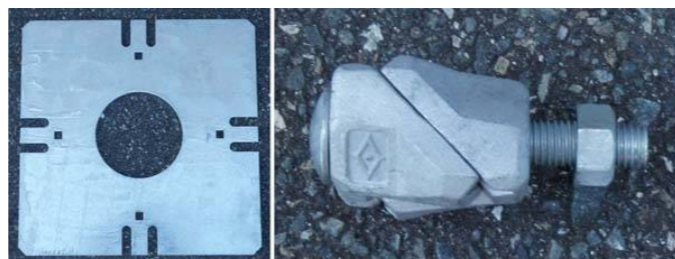
開発コンセプトは、

- ◆ 自然斜面でも樹木を残した施工が出来ます。また、緑が復元します。
- ◆ 施工性に優れ、ロックボルトは小型の削孔機械で作業が出来ます。
- ◆ 使用部材が比較的小規模かつ簡易的であり、経済的です。

完成状況



主要材料 (ロックボルト以外)



ESプレート

SKクロスクリップ



押さえプレート



ワイヤー

小型軽量削孔機による削孔

削孔機による削孔

ESネット工法

斜面のゆるみをネットでシャットアウト

特長

- コスト削減工法です。
- 景観・環境に配慮しています。
- 作業性に優れています。
- サビに強い構造です。
- 地山をネットが締付け、斜面のゆるみを抑制します。

対象と適用範囲

国内における斜面崩壊の90%が深さ3m以内の浅層で発生しています。ESネット工法は、このような表土・崩積土・強風化岩等で構成されている表層部の崩壊に適用します。

斜面補強メカニズム

施工完了時
ネット締付け時に支圧板部や地山の凸部を中心に斜面を緊張します。

斜面変形時
補強材に発生する外力が地表ネット部に伝達され斜面のゆるみに抵抗します。

基本構造と構成材料

地表ネット部

地表交点部

横ケーブル

縦ケーブル

ESプレート

ロックボルト

お問い合わせ先

神鋼建材工業株式会社

TEL (03) 5777-2952 FAX (03) 5777-2968

〒105-0021
東京都港区東新橋 2-3-17 (MOMENTO SHIODOME)
神鋼建材工業株式会社 東京支店 防災製品グループ